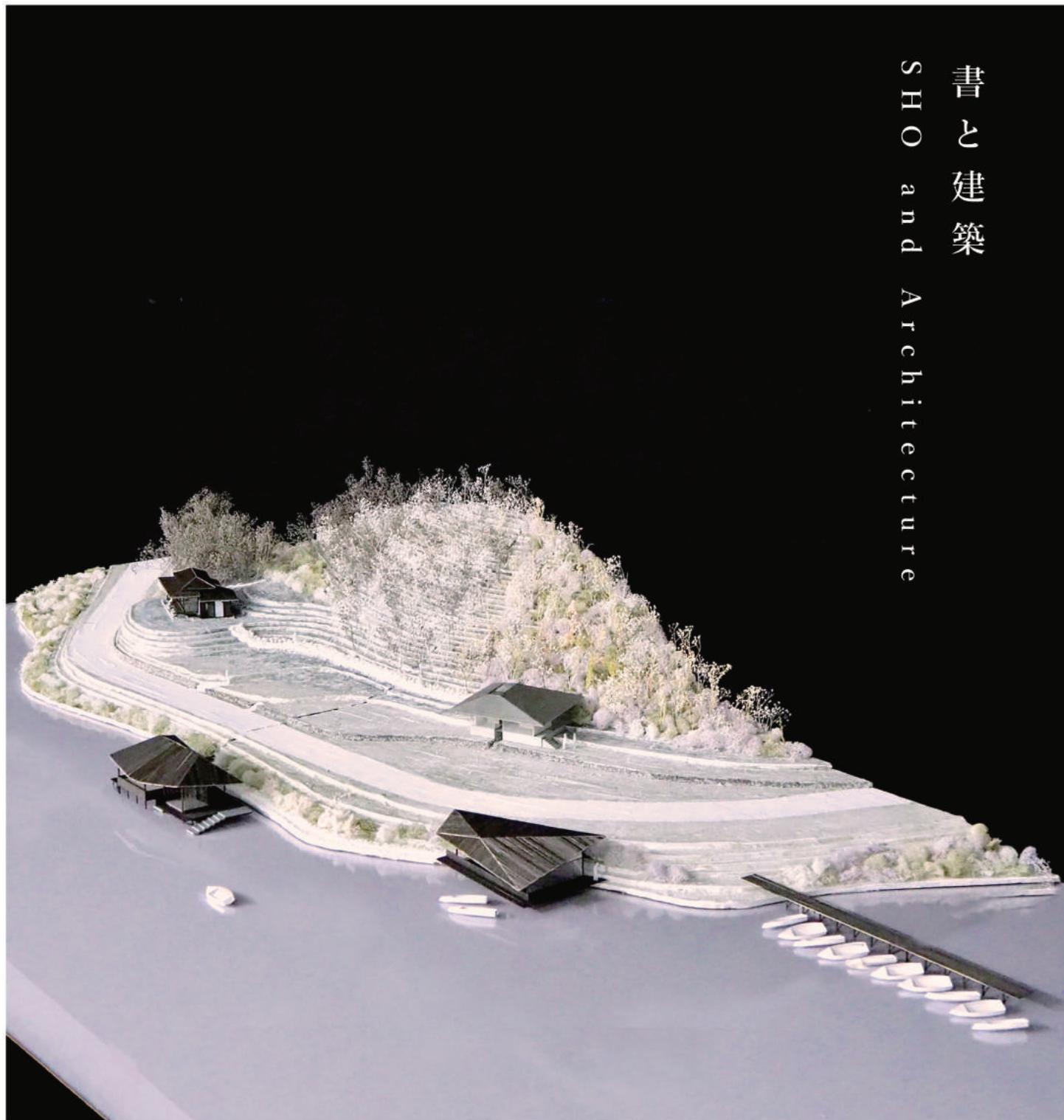


SHO and Architecture



【建築家たちが見出してきたつながり】

【書】

【建築】

谷口吉郎



平等思想は延喜式修撰（九二一—
—七）刊、天元元年（一〇二五）に
建てたもので、平氏朝の政治思想
として、特に短期の統治を主張する
本意はあろう。天皇の大神と諸神の
おのけのみと人との間にひびいて、
その位は十二段と定めている。中央
の宮をかくれ、従ってその無敵は
天に富んでいる。さらにその宮は
建物は方角と知恵の神聖性を表
している。このような美しき屋敷
の構成は臨時に作られた。その
屋敷の中に、閉鎖したとある有名な
義経の赤坂城。その作られた経緯は
義経の赤坂城は義経が滅亡の
神祇の御の殿より、その神の
御の殿より、その神の御の殿より
とある。しかしその建物の形は
それと異なるといわれる。その
建物の一面の屋敷が施される。

佛及觀世音大勢至與諸眷屬持寶
金蓮華化佛五百佛乘此人若百
化佛一時授手讚言諸子汝今清淨

經濟學博士學位

「瓦葺きの屋根に昇りて、樹皮葺きのものにけりばけはけはけはけとぞ思ふなり」とある。たとえば江戸の落着きの例を挙げ、風受や、白布の例を挙げにおいては、風受の変化はなすに無知無言よりも平直な面があるが、樹皮葺きであるため雨の曲線には平直な面が作りはまり、よどみがある。さらに三日月の陰入の面では、なすに白くぬれた面でありを知ら、そのひびのびとした面の何れかは、なすに古瀬川に湧きあふれた水のあとのように面である。このような情景は、その屋根の美と受け立てた、私は「平葺き」の芸術の女性的な側面をさしひきたせよう。三十六人集や新田羽黒殿の訓にみられる「平葺き」の美である。樹皮葺きの屋根の美に最も相違するものであらう。

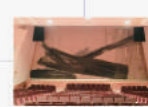
1-2-3-4-5-6-7-8-9-10-11-12-13-14-15-16-17-18-19-20-21-22-23-24-25-26-27-28-29-30-31-32-33-34-35-36-37-38-39-40-41-42-43-44-45-46-47-48-49-50-51-52-53-54-55-56-57-58-59-60-61-62-63-64-65-66-67-68-69-70-71-72-73-74-75-76-77-78-79-80-81-82-83-84-85-86-87-88-89-90-91-92-93-94-95-96-97-98-99-100-101-102-103-104-105-106-107-108-109-110-111-112-113-114-115-116-117-118-119-120-121-122-123-124-125-126-127-128-129-130-131-132-133-134-135-136-137-138-139-140-141-142-143-144-145-146-147-148-149-150-151-152-153-154-155-156-157-158-159-160-161-162-163-164-165-166-167-168-169-170-171-172-173-174-175-176-177-178-179-180-181-182-183-184-185-186-187-188-189-190-191-192-193-194-195-196-197-198-199-200-201-202-203-204-205-206-207-208-209-210-211-212-213-214-215-216-217-218-219-220-221-222-223-224-225-226-227-228-229-230-231-232-233-234-235-236-237-238-239-240-241-242-243-244-245-246-247-248-249-250-251-252-253-254-255-256-257-258-259-260-261-262-263-264-265-266-267-268-269-270-271-272-273-274-275-276-277-278-279-280-281-282-283-284-285-286-287-288-289-290-291-292-293-294-295-296-297-298-299-300-301-302-303-304-305-306-307-308-309-310-311-312-313-314-315-316-317-318-319-320-321-322-323-324-325-326-327-328-329-330-331-332-333-334-335-336-337-338-339-340-341-342-343-344-345-346-347-348-349-350-351-352-353-354-355-356-357-358-359-360-361-362-363-364-365-366-367-368-369-370-371-372-373-374-375-376-377-378-379-380-381-382-383-384-385-386-387-388-389-390-391-392-393-394-395-396-397-398-399-400-401-402-403-404-405-406-407-408-409-410-411-412-413-414-415-416-417-418-419-420-421-422-423-424-425-426-427-428-429-430-431-432-433-434-435-436-437-438-439-440-441-442-443-444-445-446-447-448-449-450-451-452-453-454-455-456-457-458-459-460-461-462-463-464-465-466-467-468-469-470-471-472-473-474-475-476-477-478-479-480-481-482-483-484-485-486-487-488-489-490-491-492-493-494-495-496-497-498-499-500-501-502-503-504-505-506-507-508-509-510-511-512-513-514-515-516-517-518-519-520-521-522-523-524-525-526-527-528-529-530-531-532-533-534-535-536-537-538-539-540-541-542-543-544-545-546-547-548-549-550-551-552-553-554-555-556-557-558-559-560-561-562-563-564-565-566-567-568-569-570-571-572-573-574-575-576-577-578-579-580-581-582-583-584-585-586-587-588-589-590-591-592-593-594-595-596-597-598-599-600-601-602-603-604-605-606-607-608-609-610-611-612-613-614-615-616-617-618-619-620-621-622-623-624-625-626-627-628-629-630-631-632-633-634-635-636-637-638-639-640-641-642-643-644-645-646-647-648-649-650-651-652-653-654-655-656-657-658-659-660-661-662-663-664-665-666-667-668-669-670-671-672-673-674-675-676-677-678-679-680-681-682-683-684-685-686-687-688-689-690-691-692-693-694-695-696-697-698-699-700-701-702-703-704-705-706-707-708-709-710-711-712-713-714-715-716-717-718-719-720-721-722-723-724-725-726-727-728-729-730-731-732-733-734-735-736-737-738-739-740-741-742-743-744-745-746-747-748-749-750-751-752-753-754-755-756-757-758-759-760-761-762-763-764-765-766-767-768-769-770-771-772-773-774-775-776-777-778-779-780-781-782-783-784-785-786-787-788-789-790-791-792-793-794-795-796-797-798-799-800-801-802-803-804-805-806-807-808-809-810-811-812-813-814-815-816-817-818-819-820-821-822-823-824-825-826-827-828-829-830-831-832-833-834-835-836-837-838-839-840-841-842-843-844-845-846-847-848-849-850-851-852-853-854-855-856-857-858-859-860-861-862-863-864-865-866-867-868-869-870-871-872-873-874-875-876-877-878-879-880-881-882-883-884-885-886-887-888-889-890-891-892-893-894-895-896-897-898-899-900-901-902-903-904-905-906-907-908-909-910-911-912-913-914-915-916-917-918-919-920-921-922-923-924-925-926-927-928-929-930-931-932-933-934-935-936-937-938-939-940-941-942-943-944-945-946-947-948-949-950-951-952-953-954-955-956-957-958-959-960-961-962-963-964-965-966-967-968-969-970-971-972-973-974-975-976-977-978-979-980-981-982-983-984-985-986-987-988-989-990-991-992-993-994-995-996-997-998-999-1000-1001-1002-1003-1004-1005-1006-1007-1008-1009-1010-1011-1012-1013-1014-1015-1016-1017-1018-1019-1020-1021-1022-1023-1024-1025-1026-1027-1028-1029-1030-1031-1032-1033-1034-1035-1036-1037-1038-1039-1040-1

2000

丹下健三



「日本の伝統のなかには強けつてい
る創造の姿勢と、それにまわりつい
てくる表現には、私たちが見習う。決
定したおぼえのないものを多くもっ
ている。このような積極的創造を達成
し、西に伝えることによってほじめて
日本の伝統のなかには獲得された方法、ま
たはその方法の成果、つまり型を自
治的に継承してゆくことが出来るの
である。」



性教育は、性に関する知識、態度、技能を身に付け、健全な性行動を促すことを目的とする。性教育は、性に関する知識、態度、技能を身に付け、健全な性行動を促すことを目的とする。性教育は、性に関する知識、態度、技能を身に付け、健全な性行動を促すことを目的とする。

白井晟一



「地味も地味だし、一つ一つの文字をたしかに素直な語順以外でないとなれば、その生まれる根拠にある意識の中に、人間的なベースでの疑い、あるいは闘争の方向がないといえますね。」

[illegible]

西航上飞公司



磯崎新



文字が任意に装飾できるかどうか、
漢字の構成原理と、たとえば片假名の
うなむとつづのゴロトタイブの形成ど
うに、相対的のシステムがあるのかど
うか。

「生活の部分に準て観られている動物の呼吸のありかという内部空間は、身体内外の呼吸の原理として構想されているのである。動物が体幹として、その内部を通過して、そこから又外へもった変化と感得することなのである。むしろ、常に集約されているものの裏つらぬいた気配がそれであるように、ほとんど記憶のないアサギゾウのようにも見える。すなわち相違はほとんど構想をもつものとして体幹要素としていってかまわないであろう。」



【書と建築のつながり】

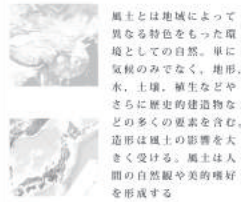
論文におけるまとめ

「書」も「建築」も造形と捉えたうえで、日本においては長い歴史の中で「書」と「建築」は互いにつながりながら変遷してきた。その根底には人間の自然観や美的嗜好を形成する「風土」が大きく関わっている。

近代化は産業や文化を劇的に変化させ、同時にそれまでの「書」と「建築」のつながりも大きく変化した。手から機械への転換は書と建築の造形の可能性を広げた一方で、簡略化、合理化のもとに大量生産可能な活字や建築が生まれた。そのような環境が拡大し、風土が更新している現代において、かつての日本の風土から生まれた書と建築の8つのつながりを再提示する。



【風土】



風土とは地域によって異なる特色をもった環境としての自然。単に気候のみでなく、地形、水、土壌、植生などやさらに歴史的建造物などの多くの要素を含む。造形は風土の影響を大きく受ける。風土は人間の自然観や美的嗜好を形成する。

1

自然観・美的嗜好

日本の風土



風土とは地域によって異なる特色をもった環境としての自然。単に気候のみでなく、地形、水、土壌、植生などやさらに歴史的建造物などの多くの要素を含む。造形は風土の影響を大きく受ける。風土は人間の自然観や美的嗜好を形成する。

敷地選定

2

中世日本の書

布局



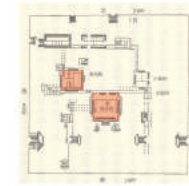
書における作品全体の構成をしめす。代表的な布局は、1.縦横のまっすぐに並んでいる形式、2.縦に行はあるが横には列がない形式、3.縦に行がなく横にも列がない形式、以上の3つがある。

連綿



日本の書は中国の書を崩して仮名を生み出したが、仮名は漢字を早く書くということから生まれた。連綿は意味のまとまりや息継ぎを示す。

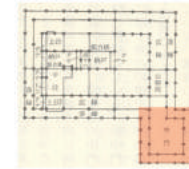
間



中国人の相対的な世界観は造型芸術のおよび、左右対称の形態を好むのに対して、日本人は日本庭園における飛び石に示されるように、自然の山水そのままを模写しようとする傾向が強い。

中世日本の建築

雁行



それぞれの棟には正面性がある。その軸がズレながら重層する。つまり、幾枚かの平面がシフト（時間的に）させながら連なっているわけで、絶対時間と同じく、絶対的な空間軸をさけることから生み出された配置である。

配置計画

3

近代以降の書

(活字/タイポグラフィ)

重心



文字の重心が高い方がモダンな印象で、低い方がトラディショナルな印象になる。

フタコロ



フタコロは広い方がモダンな印象になり、重心が低くて求心的なフタコロの狭い文字にすると、トラディショナルな雰囲気になる。

建築設計

エレメント



エレメントとは、縦線横線、トメやハラ、点など、文字を構成するパーツのことであるが、これらをどうデザインするかによって出来上がった書体の印象は変わる。

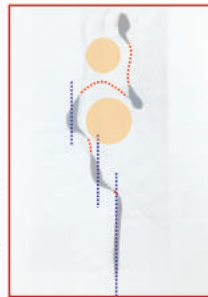
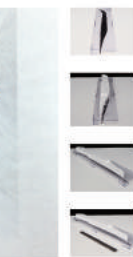
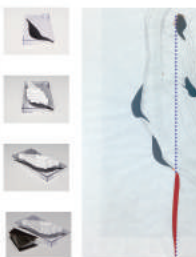
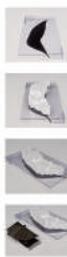
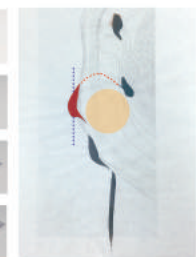
設計における目的

- ・ 8つのつながりを再考する
- ・ 書を書くように建築を配置し、文字をつくるように建築を設計する

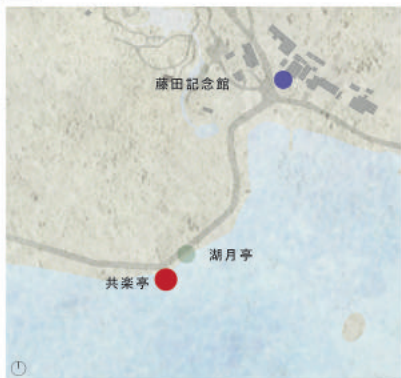
1 福島県白河市 南湖公園



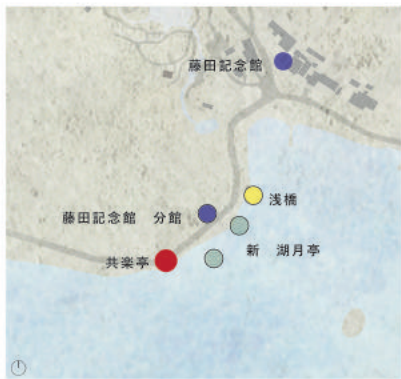
2 書を書くように建築を配置する



3 文字をつくるように建築を設計する



現在



復元後

